

# 創部百年の節目、式典挙行

## 慶応ホッケー、新たなステージへ



祝辞を頂戴した安西塾長をはじめ、多数の来賓よりお祝いのメッセージが

多数の来賓、三田会員が集い  
盛大且つ、記念すべき式典に

平成 18 年 2 月 25 日(土)12:30 より、帝国ホテル・富士の間において、慶応義塾体育会ホッケー部、創部百周年を祝う、記念式典が開催された。天候に恵まれたこともあり、正午前より、多数の来賓、三田ホッケークラブ会員が続々と会場に集まり、300 名を越える関係者が集う、実に盛大な式典となった。

広い会場は、男女大学、高校部員も加わり、ほぼ満杯。式典は厳かな雰囲気の中、定刻より開始された。

まずは主催者を代表して、須田伸一・慶応義塾体育会ホッケー部長先生、内藤昌・三田ホッケークラブ会長(昭 33 卒)より挨拶。百年の歴史の重みを振り返るとともに、新たな歴史作りに向けた決意を語った。続いて、ご来賓より祝辞を頂戴する。

まずは安西祐一郎塾長より、強い体育会たるべし、2008 年に迎える慶応義塾創立 150 年に向け、ホッケー部は是非、優勝を勝ち取って欲しいとの力強い、激励を頂戴。更に宮島司・体育会理事、社団法人日本ホッケー協会・吉田大士会長より、祝辞、激励を戴いた。



主催者代表挨拶、須田ホッケー部長、内藤会長

続いて長年の塾ホッケー部への貢献に対し、西尾・三田ホッケークラブ名誉会長(昭 15 卒)、山田・前ホッケー部長先生に対し、功労者表彰が行われた。式典は西尾名誉会長の謝辞、慶応義塾・山崎常任理事の乾杯の音頭で祝宴へ。久方ぶりの集い、懐かしい顔ぶれに旧交を温める、OB・OG の歓談の輪が広がる。

又、この宴にお出でいただいた、他部・三田体育会 OB、ホッケー界の皆様方との懇親の時を経て、1932 年のロス五輪時に日本代表として銀メダル獲得に活躍された浜田駿吉大先輩(昭 8 卒)より、ホッケー部へ、栄光のメダル寄贈が発表された。



より、全員で部歌を斉唱、全てのプログラムを終了した。

帰路に着く来賓の方々からは、さすが慶応ホッケー部、また卒業生組織の結束は素晴らしい、とのありがたいお褒めの言葉を頂戴した。

日本ホッケー100年の歴史即ち、塾ホッケー部の歴史。2008年の北京五輪へ向け日本代表チームは男女ともにいよいよ正念場の2006、2007年を迎える。塾ホッケー部も男子部が長年に亘り強力チームを育て上げてきた高瀬(昭47卒)監督より、安西(昭59卒)新監督にパトタッチ、一部定着の女子部も鈴木監督(昭54卒)の下、強力な新人(強豪・滋賀県伊吹高主将、U-18日本代表)を今春迎えることとなり、士気は大いに高まっている。



卒よろしくお願いたします。尚、今回の式典成功の陰には、式典委員会にて尽力されました大原・式典委員長(昭37卒)、福井副委員長(昭41卒)以下、委員の皆様方のご苦勞が多々ありましたこともご報告いたします。御礼申し上げます。(三田ホッケークラブ広報委員会)

続いて、去る12月に行われた創部100年記念のアイランド遠征報告が学生より行われる。若かりし頃のグレー氏を偲ぶスライドに一同改めて100年の歴史の重みを感じた次第。更には応援指導部のリードによる、若き血を始めとした応援歌を全員で熱唱、会場の熱気は最高潮に達した。

気がつけば、既に開演より2時間以上が経過、式典は大団円を迎える。一連の創部100年記念事業完遂に向け、三田クラブを束ねてきた、浅野・記念事業実行委員長(昭34卒)より、閉会の辞、最後を飾って、ホッケー部男子・木村主将の音頭



浅野委員長、閉会挨拶、左下・部歌音頭の木村主将

この数年間、慶応ホッケーは100周年という節目に向けて、学生、三田クラブ共に、より結束し、邁進してきた。この蓄積してきた「力」を今後とも如何に生かし、強めていくか、課題は山積している。

塾ホッケー部の真価が問われるのは、ポスト100周年の歴史に足を踏み入れる今後であろう。クラブ運営も含め、若手からシニアまで、幅広い世代の知恵とエネルギーが必要だが、今後は様々な場面で、今まで以上に若い世代の会員の力や、発想が重要になってくることは間違いない。改めて三田ホッケークラブの皆様へ感謝申し上げますとともに、今後のご支援につき何

(百周年記念式典より) その他の写真については、三田ホッケークラブHPをごらんください。  
<http://www.geocities.co.jp/NeverLand/5206/>



安西塾長の祝辞



功労者表彰、山田・前ホッケー部長先生



式典会場・帝国ホテル 富士の間



応援指導部 オンステージ



明日の塾ホッケーを担う高校チーム



肩組みながら、応援歌



安西新監督率いる大学男子チーム



明

春季リーグ、躍進が期待される大学女子チーム